

令和5年度 3学期 終業式 式辞(3月19日)

中高生の皆さん おはようございます。皆さんの協力のおかげで、令和5年度の終業式を無事に迎えることができました。一年間ありがとうございました。

あわせて2月3日に高校の卒業式、3月2日に中学の卒業式も無事に終えることができましたので、この場で報告しておきます。

卒業した中学高校の3年生には「コロナ禍で沢山の制限がある中、学習活動、学校行事、クラブ活動に積極的に取り組み、特に最終学年ではリーダーシップを発揮し、学校全体を盛り上げてくれたこと」「浪商で流した涙や汗は学校の財産であり、我々の宝物であること」「人との出会いにはそれぞれに意味があり、皆さんが経験してきたことすべてに価値があること」などの話をさせて頂きました。

それらは皆さんについても同様です。1年間の様々な出会いに感謝すること、また皆さんが取り組んできたことはすべて価値があるものです。良い部分もあれば反省すべきことも沢山あった1年間を振り返り、次のステップにつなげる。更にその価値が高まるかどうかは自分次第です。

今、少しゆとりがある体育館ですが、4月になると新入生をむかえることとなります。春休みは新たな学年を、新たな教室で、新たな気持ちでスタートする準備期間です。失敗は失敗として、反省は反省として、自分の中でしっかりと消化し、進むべき道を見定め、前に前に進んでいくことが大切です。

28年前の1月 阪神淡路大震災、13年前の3月 東日本大震災、そして今年、1月の能登半島地震。復興に向けて、まだまだ時間がかかる中、歯を食いしばり踏ん張っている方も少なくありません。

コロナについても、落ち着きつつある中ですが、まだまだ注意や気配りも必要です。自己を見つめつつ、周囲や社会に対する配慮も大切にできる皆さんであってください。

最後になりましたが、今年度も残り少ない日数となりました。この大きな節目である今、最後の締めくり方を大切にしたいですね。

そして4月には「どんな一年になるかではなく、こんな一年にしたい」「いける学校ではなく、行きたい学校に行く」そういう決意を持った皆さんと始業式で会えることを楽しみにしています。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校 工藤 哲士